

目 次

- 1 . 平成 1 2 年度 (後期) のライブラリー・プログラム開発課題募集について 1
- 2 . データ解析講習会の開催について 2
- 3 . 画像処理システム講習会の開催について 2
- 4 . AVS/VisLink 講習会の開催について 3
- 5 . 分子軌道法計算プログラム Gaussian98 利用講習会の開催について 4
- 6 . DVD 貸出しボリュームの利用について (再掲) 5
- 7 . 計算サービス休止について (再掲) 7
- 8 . プログラム相談コーナーの休みについて (再掲) 8

「速報」のメールアドレスの確認を

速報のメール化実施に伴い、速報が届かなかつたり、一部で配信されず返送されてくるものがありますので、メールの転送先ファイル (.forward) のメールアドレスを確認してください

- 1 . 平成 1 2 年度 (後期) のライブラリー・プログラム開発課題募集について
平成 1 2 年度 (後期) のライブラリー・プログラム開発課題を次により公募します。
 - 1) プログラムの内容 : 学術研究の発展に寄与するものであって、多数の利用者に共通に利用されるもの
 - 2) プログラムの種類 : 新しく開発しようとするもの。(改良及び書換えを含む) および既登録プログラムの改良または書換え。
 - 3) 応募資格 : 本センターの利用者
 - 4) 応募手続き : 所定の申請書類により申請する。申請用紙および公募要領は、共同利用掛 (052-789-4355) へ申し出てください。
 - 5) 締切日 : 平成 1 2 年 8 月 2 5 日 (金)

2. データ解析講習会の開催について

今年のデータ解析講習会は、“回帰分析の検定について”と題して下記の内容で開催します。受講の申込みは、センター4階事務受付(052-789-4355)で行います。

日 時 平成12年8月29日(火)10時~12時
場 所 大型計算機センター4階演習室
講 師 経済学研究科 根本二郎助教授
内 容 回帰分析に伴う各種の検定問題について解説します。はじめに古典的な回帰係数の有意性検定について、分散分析との関係を考慮しながら説明します。次に、回帰係数の安定性に関する検定を紹介し、さらに回帰における因果性の問題にも触れます。実習は行いません。
対 象 本センター利用有資格者及び学部学生
定 員 30名

申込締切日 平成12年8月25日(金)ただし、定員になり次第締切ります。
なお、申込みは、電子メールで下記のアドレスに申し込んでいただいても結構です。

koshu@cc.nagoya-u.ac.jp

(電子メールで申し込む場合には所属・職名等の身分も明記してください)

また、センターの利用者は、センターのホームページの講習会案内からも申し込みができます。

3. 画像処理システム講習会の開催について

画像処理ワークステーション(gamma1, gamma2, alpha15)を使った画像処理システムの講習会を下記の内容で開催します。受講の申し込みは、センター4階事務受付(052-789-4355)で行います。

日 時 平成12年9月6日(水) 13時30分~16時30分
場 所 大型計算機センター3階端末室
対 象 本センター利用有資格者及び学部学生
定 員 15名

申込締切日 平成12年9月1日(金)

なお、申込みは、下記のアドレスに申し込んでいただいても結構です。

koshu@cc.nagoya-u.ac.jp

(電子メールで申し込む場合には所属・職名等の身分も明記してください)

また、センターの利用者は、センターのホームページの講習会案内からも申し込みができます。

<講習内容>

- ・ 静止画像入出力装置の使い方
- ・ 動画入出力装置とビデオ機器の使い方
- ・ アニメーションの作成(ノンリニア編集)

4 . AVS/VisLink 講習会の開催について

AVS / V i s L i n k 講習会を下記の内容で開催します。受講の申し込みは、センター4階事務受付(052-789-4355)で行います。

日 時 平成12年9月7日(木) 10時~16時30分
場 所 大型計算機センター4階演習室
内 容

AVS / Express Viz (汎用可視化システム)

- ・ AVSの概要説明およびデモ
- ・ 基本操作説明
- ・ 可視化実習
 - 1) 構造格子型データの基本ネットワーク
 - 2) 非構造格子型データの基本ネットワーク
 - 3) 可視化結果の出力機能紹介 など

VisLink (リアルタイム可視化システム)

- ・ リアルタイム可視化について
- ・ VisLink のシステム構成と機能概要
- ・ 実習
 - 1) VisLib プログラミング
 - 2) Reducer の使用方法
 - 3) VisLink モジュールの使用方法

日 程

10:00	12:00	13:00	14:30	16:30
AVS 概要説明およびデモ 基本操作説明	昼休み	実習 質疑応答	VisLink 概要説明 実習	

対 象 本センター利用有資格者及び学部学生

定 員 15名

申込締切日 平成12年9月4日(月)ただし、定員になり次第締切ります。

なお、申込みは、下記アドレスに申し込んでいただいても結構です。

koshu@cc.nagoya-u.ac.jp

(電子メールで申し込む場合には所属・職名等の身分も明記してください)

また、センターの利用者は、センターのホームページの講習会案内からも申し込みができます。

<大型パッケージ口メモ>

AVS/Express Viz (AVS6)

汎用可視化システムの一つで、数値シミュレーションの実行結果や実験で測定した数値データを可視化するシステムです。流体解析、構造解析、医療画像など幅広い分野で利用されています。コーディング不要のビジュアルプログラミングにより高度な可視化表示アプリケーションの作成が可能です。可視化の結果は、gif、jpeg、VRML2、MPEG1に出力可能です。

VisLink

VisLinkは、計算サーバ上で実行中の大規模科学技術計算の途中経過をリアルタイムに可視化するためのソフトウェアです。従来、科学技術計算の可視化は、計算終了後の結果を納めたファイルを AVS 等の可視化用ソフトウェアに転送してから可視化する「ポスト・プロセッシング」が主に行われていましたが、VisLinkを用いると計算の途中経過をリアルタイムに可視化できるようになるため、計算の妥当性がいち早く確認でき、研究開発の効率が大きくアップします。

5. 分子軌道法計算プログラム Gaussian98 利用講習会の開催について

分子軌道法計算プログラム Gaussian98 利用講習会を下記の内容で開催します。受講の申込みは、センター 4 階事務受付 (052-789-4355) で行います。

日時 平成12年9月8日(金) 10時30分～16時

場所 大型計算機センター 4 階演習室

講師 岐阜大学地域科学部 和佐田 裕昭助教授

名古屋市立大学自然科学教育センター 和佐田 祐子氏

内容 分子軌道法計算プログラム Gaussian98 利用入門

多くの分子軌道法計算に用いられている Gaussian98 の利用方法に関する講習会です。はじめて分子軌道法計算プログラムを利用してみようと思うユーザ向けの講習会です。計算出力の処理・解析に関しても簡単な実習を行います。

日程

10:30	12:00	13:30	16:00
分子軌道法についての解説		昼休み	Gaussian98 の実習

対象 本センター利用有資格者および学部学生

定員 20名

申込締切日 平成12年9月5日(火) ただし、定員になり次第締め切ります。

なお、申込みは、電子メールで下記アドレスに申し込んでいただいても結構です。

koshu@cc.nagoya-u.ac.jp

(電子メールで申し込む場合には所属・職名等の身分も明記してください)

また、センターの利用者は、センターのホームページの講習会案内からも申し込みができます。

6. DVD貸出しボリュームの利用について（再掲）

ファイルの容量が多くてお困りのあなたに

DVD 貸出しボリュームの利用について

7月3日（月）より DVD 貸出しボリュームのサービスを開始します。このサービスは、スーパーコンピュータ vpp や汎用計算サーバ gpcs での計算結果がディスクに大量にある場合、そのファイル課金への負担を軽減するためのものです。ディスクより低額で大容量のファイルを確保できる装置として、DVD の貸出しボリュームのシステムを導入しました。一旦ファイルを DVD へ転送する手間が要りますが、ディスクファイルに比較して 2 桁程度低額になっています。DVD の利用申請は、センター4 階事務受付（052-789-4355）で行います。（申請書はセンターホームページで）利用の概要は次のとおりです。

1. 利用負担金

- ・ 1 ボリューム 5GB とし、1 ボリュームにつき月額 1,000 円とする。
- ・ 利用申請は、5 ボリューム（25GB）以上とする。
- ・ DVD の利用負担金額は、DVD 利用申請時および月初めに請求を行う。

2. DVD 貸出しボリュームシステムの利用方法

- ・ ホスト名

NICE (FastEther) 経由：dvdserv.cc.nagoya-u.ac.jp

システムネットワーク (GigaEther) 経由：dvdserv-g

- ・ ログイン名、パスワード：他のシステム (vpp、gpcs、nucc 等) と同じ。
- ・ DVD 利用申請ごとに DVD ボリュームが作成される。ボリューム名は、登録番号 + 1 桁。

(例) 登録番号：a49999a ボリューム名：a49999a1

- ・ DVD ボリュームのマウントポイントは、\$HOME/ボリューム名。

(例) 登録番号 (login 名)：a49999a ボリューム名：a49999a1

マウントポイント：/home/usr9/a49999a/a49999a1

- ・ DVD 貸出しボリュームシステムでは、2GB を超えるファイルは扱えないので、ファイルを圧縮したり、split コマンドでファイルを分割すること。
- ・ ホームディレクトリには、環境設定ファイル以外のファイルは作成しないこと。

3. 利用例

【例1】gpcs の chkdvd.dat のファイルを DVD ボリューム a49999a1 へ転送する。gpcs から転送する場合には、システムネットワーク経由 (GigaEther) での利用をお勧めする。ホスト名は、dvdserv-g を指定する。

```
gpcs% ftp dvdserv-g
Connected to 192.168.1.19.
220 dvdserv FTP server (Version wu-2.6.0(1) Fri Apr 21 12:59:33
JST 2000) ready.
Name (dvdserv-g:a49999a):
331 Password required for a49999a.
Password:
230 User a49999a logged in.
ftp> cd a49999a1
250 CWD command successful.
257 "/home/usr9/a49999a/a49999a1" is current directory.
ftp> bin
200 Type set to I.
ftp> put dvdchk.dat
200 PORT command successful.
150 Opening BINARY mode data connection for dvdchk.dat.
226 Transfer complete.
local: dvdchk.dat remote: dvdchk.dat
367048480 bytes sent in 82 seconds (4369.69 Kbytes/s)
```

dvdserv のパスワードを入力する。gpcs と同じパスワード。

DVD ボリュームのマウントポイントに移る。

DVD ボリュームにファイルを転送する。

【例2】2GB を超えるファイル(chk2g.dat)を DVD ボリュームへ転送する。

(その1) 2GB を超えるファイルは、DVD ボリュームには転送できないので、split コマンドでファイルを分割する。ファイルの大きさで分割する場合には、-b オプションでその大きさを指定する。この例では、2000MB 単位に分割し、分割されるファイルの接頭辞を chk2g.datX と指定している。なお、この接頭辞のオペランドを省略すると、x となる。split コマンドのオペランドの詳細については、man コマンドで確認すること。

```
vpp% split -b 2000m chk2g.dat chk2g.datX
vpp% ls
chk2g.dat chk2g.datXaa chk2g.datXab chk2g.datXac
```

(その2) 分割されたファイルを DVD ボリュームに転送する。

```
vpp% ftp dvdserv
Connected to 133.6.90.19.
```

```

220 dvdserv FTP server (Version wu-2.6.0(1) Fri Apr 21 12:59:33
JST 2000) ready.
Name (dvdserv:a49999a):
331 Password required for a49999a.
Password:
230 User a49999a logged in.
ftp> cd a49999a1
250 CWD command successful.
257 "/home/usr9/a49999a/a49999a1" is current directory.
ftp> bin
200 Type set to I.
ftp> put chk2g.datXaa
200 PORT command successful.
150 Opening BINARY mode data connection for chk2g.datXaa.
226 Transfer complete.
local: chk2g.datXaa remote: chk2g.dataXaa
2097152000 bytes sent in 7.6e+02 seconds (2.7e+03 Kbytes/s)
:
:

```

(補足)

分割されたファイルを1つのファイルに連結するのは、catコマンドで行う。

```
vpp% cat chk2g.datXaa chk2g.datXab chk2g.datXac >chk2g.dat
```

7. 計算サービス休止について(再掲)

計算機システムの保守工事等のため、下記のとおり計算サービスを休止します。なお、8月14日(月)~16日(水)の間、センターは閉館します。

月日 システム名	8/13(日)	8/14(月)	8/15(火)	8/16(水)	8/17(木)
vpp	1:00 ~ 9:30 サービス休止				
gps	8:00 ~ 9:30 サービス休止				
nucc crayj	平常通り(連続運転)				

8 . プログラム相談コーナーの休みについて (再掲)

平成12年8月7日(月)~平成12年8月18日(金)まで, プログラム相談コーナーは休みますので, ご了承ください。